BUFFALO 35010878 ver.01 C10-013

LS-XHLシリーズ
LS-CHLシリーズ
マニュアル
簡単接続ガイド

はじめにお読みください

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

梱包物の確認

不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
確認した項目には✓を付けてください。なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

- ☐ LinkStation本体... 1台
- ☐ ACアダプター........... 1個
- ☐ LANケーブル(2m)... 1本
- ☐ ユーティリティーCD................ 1枚
- ☑ はじめにお読みください(本紙)... 1枚

※本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されています。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。
※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

各部の名称

＜ 前面 ＞

ステータスランプ
青色点灯：電源ON　**消灯：**電源OFF
橙色点滅：メッセージがあるときに橙色点滅します。点滅のしかたによってメッセージの内容は異なります。詳しくは画面で見るマニュアル「LinkStation設定ガイド」をご参照ください。
赤色点滅：エラーが発生したときに赤色点滅します。点滅のしかたによってメッセージの内容は異なります。詳しくは画面で見るマニュアル「LinkStation設定ガイド」をご参照ください。

ファンクションスイッチ
ダイレクトコピー機能（USBコネクターに接続した記憶装置に含まれるメディアファイルをLinkStationにコピーする機能）やLinkStationに接続したUSB機器の取り外し処理、LinkStationの設定の初期化に使用します。詳しくは画面で見るマニュアル「LinkStation設定ガイド」をご参照ください。

※横置きにするときは、前面のファンクションスイッチが右になる向きに設置してください。
＜ 前面 ＞ ファンクションスイッチ

＜ 背面 ＞

ファン　ファンを塞ぐような設置はしないでください。

USBコネクター(USB2.0/1.1 シリーズA)
LinkStationのUSBコネクターに接続できるのは、USBマスストレージクラス、カードリーダー(2個以上のメモリーカードを認識できるカードリーダーを除く)、デジタルカメラなどのPTPデバイス、対応を明記してあるUPSデバイス、USB接続プリンターです。それ以外のUSB機器（USBハブ、マウス、キーボードなど）を接続して使用することはできません。

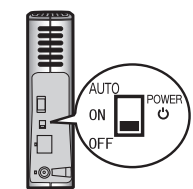
電源スイッチ　**AUTO：**PC連動電源機能を有効にします。
ON：電源をONにします。
OFF(出荷時設定)：電源をOFFにします。

LANポート　LANケーブルを接続します。
LANポート横のランプはLINK/ACTランプです。
リンク時に緑色点灯し、アクセス時に緑色点滅します。

フック　ACアダプターのケーブルが抜けないように、フックにかけて固定します。

電源コネクター　付属のACアダプターを接続します。ACアダプターを接続すると、電源コネクター横のランプが緑色点灯します。

PC連動電源機能について

LinkStationの電源は、「PC連動電源機能」によって本製品付属のNAS Navigator2をインストールしたパソコン本体の電源ON/OFFに合わせて、自動的にON/OFFすることもできます。

AUTO: NAS Navigator2がインストールされたパソコンが全て電源OFFになると自動的にLinkStationの電源がOFFになります(パソコンの状態を監視する微弱な電力は消費しています)。ネットワークでLinkStationに接続されたパソコンが1台でも電源スイッチがONになると、自動的にLinkStationの電源がONになります。

ON：本製品の電源をONにします。パソコンの電源には連動しません。

OFF(出荷時設定)：本製品の電源をOFFにします。パソコンの電源には連動しません。

⚠注意
- LinkStation のセットアップは、電源スイッチを「ON」にして行ってください。「AUTO」に変更してセットアップすると、セットアップ中にLinkStation の電源が OFF になってしまうことがあります。初回セットアップ後、「AUTO」にすることでパソコンの電源に連動することができるようになります。
- NAS Navigator2 をインストールしていないパソコン、およびLinkStation と同一ネットワークに接続していないパソコンの電源には連動しません。
- NAS Navigator2 をインストールしていないパソコンからのアクセス中であっても、NAS Navigator2 をインストールしたパソコンの電源が全て OFF になると LinkStation の電源は OFF になります。「AUTO」にする場合、LinkStation と同一ネットワークのパソコン全てに NAS Navigator2 をインストールしてください。

※「AUTO」でお使いの場合、お使いの環境によっては、正常に認識しないことやパソコンの電源に連動しないことがあります。このようなときは、「ON」にしてお使いください。
※パソコンの電源スイッチを OFF にしてから本製品の電源ランプが消えるまでに、少し時間がかかることがあります。
※電源スイッチを「ON」や「AUTO」にした直後は、パソコンの電源状態を確認するため5分程度LinkStation の電源がOFFになりません。あらかじめご了承ください。
※LinkStation の Web アクセス機能を使用する場合、電源スイッチを「ON」にしてお使いください。

セットアップ手順

LinkStationを使用するには、まず付属のユーティリティーCDに収録されているLinkNavigatorにしたがって、パソコンおよびネットワークへの接続、LinkStationのセットアップ(初期設定)を行います。LinkStationの共有フォルダーを開くには、セットアップ時にインストールされる、NAS Navigator2を使用します。2台目以降のパソコンからLinkStationの共有フォルダーにアクセスするには、NAS Navigator2をインストールし、NAS Navigator2で共有フォルダーを開きます。

❶ ユーティリティーCDをパソコンにセットします。
LinkNavigatorが起動します。
※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[LSNavi.exeの実行]をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。
※Mac OSでは、ユーティリティーCD内の[LinkNavigator]をダブルクリックしてください。
※パソコンにCD・DVDドライブが搭載されていないときは、弊社ホームページ(buffalo.jp)のダウンロードサービスより、本製品のLinkNavigatorをダウンロードし、実行してください。

⚠注意 ウィルス対策ソフトウェアやOSのファイアウォール機能が有効に設定されている場合、本製品をセットアップする前に必ず無効にしてください。有効に設定されていると、本製品をセットアップできないことがあります。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。セットアップ後に、ファイアウォール機能の設定を元に戻してください。

❷ [かんたんスタート]をクリックします。

画面はWindowsでLS-XHLシリーズを使用するときの例です。
※Windowsでこの画面が表示されないときは、ユーティリティーCD内に収録されている アイコン(LSNavi.exe)をダブルクリックしてください。

❸ 以降は、画面の指示にしたがってLinkStationの接続、およびセットアップ(初期設定)を行ってください。

❹ 以上でLinkStationの接続、セットアップ(初期設定)は完了です。LinkNavigator右上の☒をクリックしてLinkNavigatorを閉じます。
続いて、インストールされたNAS Navigator2でLinkStationの共有フォルダーを開きます。

❺ NAS Navigator2を起動します。
※Windows では、[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[BUFFALO NAS Navigator2]-[BUFFALO NAS Navigator2] をクリックします。
※Mac OS では、Dock 内の [NAS Navigator2] をクリックします。

❻ NAS Navigator2の画面に表示されているLinkStationのアイコンをダブルクリックします。

❼ LinkStation内の共有フォルダーが表示されます。
※Mac OSでは、デスクトップ画面にLinkStationがドライブアイコンとしてマウントされるか、Finderのサイドバーに表示されます。
※LinkStationは、最新のファームウェアで使用することをおすすめします。最新のファームウェアは、弊社ホームページ(buffalo.jp)からダウンロードすることができます。お使いのLinkStationのファームウェアバージョンは、NAS Navigator2メイン画面に表示されています。

以上でセットアップは完了です。
LinkStationの共有フォルダーは、他のハードディスクと同じようにファイルの保存先としてご使用することができます。

2台目以降のパソコンで使用する方へ
付属のCD「LinkNavigator」から[オプション]→[ソフトウェアの個別インストール]画面で、「BUFFALO NAS Navigator2」を選択し、[インストール開始]をクリックし、NAS Navigator2をインストールします。
LinkStationの共有フォルダーを開くときは、上記手順5〜7の操作で行います。

DLNA対応機器でLinkStationをメディアサーバーとして使用する方へ
弊社ホームページ(http://buffalo.jp/download/manual/l/lsxhl.html)に掲載の「DLNA対応機器で使用するには」(LS-XHLシリーズ、LS-CHLシリーズ共通の案内です)を参照して設定してください。

LinkStationの設定画面の表示方法
NAS Navigator2を起動し、LinkStationのアイコンを右クリック(Mac OSをお使いの場合は、コントロールキーを押しながらLinkStationのアイコンをクリック)し、表示されたメニューから[Web設定を開く]を選択します。
※ログイン画面では、次のユーザー名、パスワードを入力ください。
ユーザー名：**admin**
パスワード：**password**
※ログイン後セキュリティーのためパスワードは変更してください。
※設定画面の対応ブラウザーは、Internet Explorer6.0 Service Pack 2以上、Firefox 1.5以上、Safari3以上です。対応ブラウザー以外からのアクセスでは、正しく表示されないことがあります。

製品仕様
製品仕様については、本製品を梱包している箱に記載しています。また、弊社ホームページ(http://buffalo.jp/products/catalog/storage/hd_lan.html)でも製品仕様に関する情報を提供しております。最新の情報は、弊社ホームページでご確認ください。

画面で見るマニュアルの読みかた 「LinkStation設定ガイド」

付属のCDをパソコンにセットし、自動的に起動した画面(LinkNavigator)で、[マニュアルを読む]をクリックしてください。LinkStation設定ガイド(HTML形式)などLinkStationのマニュアルを読むことができます。

LinkStation設定ガイドを読むには、インターネットを閲覧できる環境が必要です。インターネットを閲覧できる環境がない場合は、LinkStationの内蔵ハードディスク内[info]-[Japanese]-[manual]フォルダーに収録されているindex.htmlファイルをダブルクリックしてお読みください。

※Mac OSでは、LinkNavigator画面は自動的に起動しません。ユーティリティーCD内の[LinkNavigator]をダブルクリックしてください。WindowsでLinkNavigatorの画面が表示されないときは、ユーティリティーCD内に収録されている[LSNavi.exe]をダブルクリックしてください。
※LinkStation設定ガイドはInternet Explorer6以降、またはFirefox2.0以降でご覧ください。バージョンが古いと正常に表示できません。古いときは最新のバージョンにアップデートしてください。

画面はWindowsでLS-XHLシリーズを使用しているときの例です。

ソフトウェアのご紹介

付属のCD「LinkNavigator」から[オプション]-[ソフトウェアの個別インストール]をクリックし、画面の指示にしたがって、次のソフトウェアをインストールすることができます。ソフトウェアを削除するには、LinkNavigatorの[オプション]-[ソフトウェアの削除]をクリックしてください。

BUFFALO NAS Navigator2　LinkStationの共有フォルダーを開くときや、LinkStationの設定画面の表示、ネットワークからLinkStationを検索するためにNAS Navigator2が必要です。LinkNavigatorの[かんたんスタート]をクリックしてセットアップすると、必ずインストールされます。
※PC連動電源機能を使用するときは、LinkStationと同じネットワークに接続しているパソコン全てにNAS Navigator2をインストールする必要があります。

ファイル共有セキュリティレベル変更ツール　LinkStationの設定画面で「認証サーバ連携機能を利用したアクセス制限」を設定するときは、Windows Vista、Windows Server2003/Server2008のセキュリティーを変更する必要があります。[スタート]-[BUFFALO]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール]で「ファイル共有のセキュリティレベルを変更する」を選択すると変更することができます(元に戻すときは、「元に戻す」を選択します)。
※Windows Vista、Windows Server2003/Server2008のみインストールされます。
※初期セットアップ中、「セキュリティレベルを変更します。よろしいですか？」と表示されます。[はい]をクリックしたときは、画面の指示にしたがってパソコンを再起動してください。

簡単バックアップ　パソコンのデータをLinkStationにバックアップしたいときに便利なユーティリティーです。使いかたについてはセットアップ後に、[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[簡単バックアップ]-[簡単バックアップ マニュアル]をご参照ください。
※LinkStationのデータをバックアップしたいときは、LinkStationの設定画面で行います。

LinkStation設定ガイド(LinkStationマニュアル)　LinkStation 設定ガイド(HTML形式)を読むためのショートカットアイコンをデスクトップにコピーします。本製品の制限事項や設定手順が記載されています。

Adobe Reader　マニュアルには一部PDFファイルが含まれています。PDFファイルを読むにはパソコンにAdobe Readerがインストールしてある必要があります。Adobe Readerがない環境をお使いの場合にインストールしてください。使いかたについてはAdobe Readerのヘルプを参照してください。

LinkStationの内蔵ハードディスク内「info」フォルダーの中には、次のファイルが収録されています。

[info]-[Japanese]フォルダー
- [manual]フォルダー - index.html…LinkStation設定ガイド(HTMLファイル)を読むことができます。
- [NASNavi2]フォルダー - Inst.exe……NAS Navigator2をインストールできます。
- [HdBackup]フォルダー - Inst.exe……簡単バックアップをインストールできます。
  - Hdbackup.pdf…簡単バックアップの使いかた(PDFファイル)が書かれています。
- [lmcmchg]フォルダー - Inst.exe……ファイル共有セキュリティレベル変更ツールをインストールできます。

共有フォルダーが開けないときは

- 物理的に接続されていない、正常にLinkStationが認識されていない可能性があります。LANケーブルを接続しなおし、パソコンおよびLinkStationを再起動してください。
- Mac OSではLinkStationの設定画面で、[システム]-[ディスク]-[ディスク]-[ディスクチェック]-[MacOSの固有情報を削除する]を選択しディスクチェックを実行することで改善することがあります。
- 停電発生時や電源がONの状態のままACアダプターを取り外すと、LinkStationのファームウェアが破損し、共有フォルダーが開かなくなってしまうことがあります(NAS Navigator2では検索できるがフォルダーを開けない)。このようなときは、弊社ホームページ（buffalo.jp）から最新のファームウェアをダウンロードし、アップデートしてください。

LinkStationの電源をOFFにするときは

LinkStation背面の電源スイッチを「OFF」にします。
電源スイッチが「ON」の状態、またはステータスランプが点灯している状態のまま、ACアダプターを取り外すとLinkStationが故障する恐れがあります。

LinkStationのデータのバックアップをおすすめします

LinkStationを使用していると、突然の事故、ハードディスクの故障や誤操作で大切なデータを失ってしまう可能性があります。そのようなときに、データを元に戻したり、被害を最小限に抑えるために、データのバックアップをとっておくことが大切です。

バックアップ先には弊社製大容量ハードディスク(TeraStation/LinkStation、およびUSB接続外付ハードディスク)をお使いください。LinkStationのデータのバックアップは、LinkStationの設定画面から行うことができます。バックアップ手順については、画面で見るマニュアル「LinkStation設定ガイド」をご参照ください。

Webで解決　バッファローホームページ(buffalo.jp)トップの検索ウィンドウに半角で「**8006**」と入力し、検索ボタンをクリックすると、よくある質問を表示します。困ったときにご参照ください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

表示	意味
警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味　△⊘●の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

記号	意味
△	警告・注意を促す内容を示します。（例：感電注意）
⊘	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

強制
本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止
本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止
AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制
電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止
電源ケーブル(またはACアダプター)を傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。
- 設置時に、電源ケーブル(ACアダプター)を壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブル(ACアダプター)を抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブル(ACアダプター)を接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブル(ACアダプター)が傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制
電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする危険があります。

強制
小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制
濡れた手で本製品に触れないでください。
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く
煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止
風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く
本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く
本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止
電源ケーブル(またはACアダプター)、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。
本製品付属以外の電源ケーブル(内部接続用含む)、ACアダプター、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

強制
静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。

⚠注意

強制
パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

禁止
次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ→故障の原因となります。
- 振動が発生するところ→けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ→故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ→故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ→故障や感電の原因となります。

強制
本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータを他のメディアにバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制
ハードディスク内のデータは、必ず他のメディアにバックアップしてください。
とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。
- 誤った使い方をしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障、修理などのとき
- 天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制
各接続コネクターのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクターには手を触れないでください。
故障の原因となります。

禁止
本製品の上に物を置かないでください。
傷がついたり、故障の原因となります。

禁止
シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止
本製品へのアクセス中は、本製品から電源ケーブル(またはACアダプター)を抜いたり、電源スイッチをOFFにしないでください。
データが消失、破損する恐れがあります。

強制
本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

NTP機能について

ネットワーク環境によってはNTP機能が使用できない場合があります。
デフォルトのNTPサーバー（ntp.jst.mfeed.ad.jp）は、インターネットマルチフィード株式会社のものです。詳しくは http://www.jst.mfeed.ad.jp/ をご参照ください。
本サービスのご利用につきましてはお客様ご自身の責任において行って頂くよう、お願いいたします。本サービスの利用、停止、欠落及びそれらが原因となり発生した損失や損害については一切責任を負いません。

Bonjourについて

本製品はBonjourに対応しています。BonjourはApple社の技術です。
Bonjour, the Bonjour logo, and the Bonjour symbol are trademarks of Apple Computer, Inc.

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。万一、　お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
詳しくは、http://buffalo.melcoinc.co.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。

LinkStationのデータを完全消去するには、LinkStationのディスク消去機能(※)を使用するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。

※LinkStationの設定画面にて[システム]-[初期化]-[ディスク完全フォーマット]を行うことで、LinkStationの全データ領域に「0」を上書きする機能です。

GPL/LGPLライセンスについて

本製品は、GPL/LGPLの適用ソフトウェアを使用しており、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。オープンソースとしての性格上著作権による保証はなされておりませんが、本製品については保証書記載の条件により弊社による保証がなされています。

GPL/LGPLのライセンスについては、添付CD-ROM内 GNU_LICENSE.PDF をご覧下さい。

変更済みGPL対象モジュール、および再配布については、http://opensource.buffalo.jp/をご覧ください。

本製品について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について

ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。
- 本機と、ラジオやテレビ双方の向きを変えてみる
- 本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

はじめにお読みください

2009年4月17日　初版発行
発行　　株式会社バッファロー